

注3

大学番号：177

[平成22年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

大正大学 表現学部 表現文化学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大正大学
平成24年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1.	調査対象大学等の概要等	・ ・ ・ ・ ・	1
2.	授業科目の概要	・ ・ ・ ・ ・	5
3.	施設・設備の整備状況，経費	・ ・ ・ ・ ・	1 1
4.	既設大学等の状況	・ ・ ・ ・ ・	1 3
5.	教員組織の状況	・ ・ ・ ・ ・	1 4
6.	留意事項に対する履行状況等	・ ・ ・ ・ ・	1 5
7.	その他全般的事項等	・ ・ ・ ・ ・	1 6

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 大 正 大 学

(2) 大学名

大 正 大 学

(3) 大学の位置

〒170-8470

東京都豊島区西巣鴨三丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(スギタニ ギジュン) 杉 谷 義 純 (平成21年3月)		
学 長	(コミネ ミチヒコ) 小 峰 彌 彦 (平成19年4月)	(タダ コウブン) 多 田 孝 文 (平成22年4月)	任期満了のため 平成22年3月31日 (22)
学 部 長	(ニシカゲ ヒロコ) 西 蔭 浩 子 (平成22年4月)		
学科長等		(アカヒラ カズノリ) 赤 平 和 順 (平成22年4月)	学部等新設のため(22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成21年度開設の4年制の学科の場合（平成24年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
表現学部 表現文化学科 学士（表現文化）	4	200 130	3	806 526	収容定員変更（24）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	130 (-) [-]		130 (-) [-]		200 3 [-]				1.19倍	
志願者数	946 (-) [-]		1026 (-) [4]		1049 (3) [2]					
受験者数	935 (-) [-]		1010 (-) [4]		1034 (3) [1]					
合格者数	289 (-) [-]		316 (-) [3]		488 (2) [0]					
B 入学者数	159 (-) [-]		157 (-) [2]		226 (2) [0]					
入学定員超過率 B/A	1.22		1.21		1.13					

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] 159	[]	[2] 157	[]	[-] 227	[]	[]	[]	
2 年次			[-] 151	[]	[2] 159	[]	[]	[]	
3 年次					[-] 144	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計			[2] 308		[2] 530		[]		

- (注) ・ 数字は、平成 2 4 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	159 人	13 人	平成22年度	8 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学 6人 ・家庭の事情 2人	8.2% %
			平成23年度	5 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学 3人 ・就学意欲の低下 1人 ・経理除籍1人	
			平成24年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	157 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	・就学意欲の低下1人	0.6% %
			平成24年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	226 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0% %
合 計	542 人	14 人					2.6% %

(注)・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の身心に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<表現学部 表現文化学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
第 I 類 科目	大学入門 1-I	1前	1								兼1	
	大学入門 1-II	1前		1							兼1 兼7	
	大学入門 2	1前	2			1		1			兼6 兼20	
	大学入門 3	1前	2			1	1	1			兼21 兼13	
	大学入門 4	1前	2			2	1				兼17	
	小計 (5科目)	—	7	1	0	2	1	2	0	0	兼29 兼33	
	人間探究 A-I	1・2前・後		2							兼2	
	人間探究 A-II	1・2前・後		2							兼3	
	人間探究 B-I	1・2前・後		2							兼3	
	人間探究 B-II	1・2前・後		2							兼3	
	人間探究 C-I	1・2前・後		2							兼1 兼1	
	人間探究 C-II	1・2前・後		2							兼3	
	人間探究 D-I	1・2前・後		2							兼1	
	人間探究 D-II	1・2前・後		2							兼3	
	人間探究 E-I	1・2前・後		2			1				兼3 兼4	
	人間探究 E-II	1・2前・後		2		1		1			兼3	
	人間探究 F-I	1・2前・後		2		1						
	人間探究 F-II	1・2前・後		2							兼2 兼3	
	人間探究 G-I	1・2前・後		2							兼3	
	人間探究 G-II	1・2前・後		2							兼5 兼2	
	人間探究 H-I	1・2前・後		2		1					兼4 兼2	
	人間探究 H-II	1・2前・後		2							兼4	
	人間探究 I	1・2後		2							兼1	
	小計 (17科目)	—	0	34	0	3 2	1	0 1	0	0	兼29 兼34	
	英語 I	1・2前 1・2前・後		1		1		1			兼9 兼10	
	英語 II	1・2後 1・2前・後		1		1		1			兼9 兼10	
	英語 III	1・2前 1・2前・後		1		1		1			兼11	
	英語 IV	1・2後 1・2前・後		1		1		1			兼11	
	英語 V	2・3前		1							兼1	
	英語 VI	2・3後		1							兼1	

適正人数を考慮
し、開講クラス減
(23)

第Ⅰ類科目	諸外国語	中国語Ⅰ	1・2前・後		1							兼4 兼6
		中国語Ⅱ	1・2前・後 1・2前		1							兼4 兼6
		中国語Ⅲ	1・2前・後 1・2後		1							兼3 兼5
		中国語Ⅳ	1・2前・後		1							兼3 兼5
		中国語Ⅴ	1・2前		1							兼2
		中国語Ⅵ	1・2後		1							兼2
		ドイツ語Ⅰ	1・2前・後		1							兼3
		ドイツ語Ⅱ	1・2前・後 1・2前		1							兼3 兼2
		ドイツ語Ⅲ	1・2前・後 1・2後		1							兼3 兼2
		ドイツ語Ⅳ	1・2前・後		1							兼3
		フランス語Ⅰ	1・2前・後		1							兼2
		フランス語Ⅱ	1・2前・後 1・2前		1							兼2
		フランス語Ⅲ	1・2前・後 1・2後		1							兼2
		フランス語Ⅳ	1・2前・後		1							兼2
		韓国語Ⅰ	1・2前		1							兼1
		韓国語Ⅱ	1・2後		1							兼1
第Ⅰ類科目	諸外国語	韓国語Ⅲ	1・2前		1							兼1
		韓国語Ⅳ	1・2後		1							兼1
		スペイン語Ⅰ	1・2前		1							兼1
		スペイン語Ⅱ	1・2後		1							兼1
		スペイン語Ⅲ	1・2前		1							兼1
		スペイン語Ⅳ	1・2後		1							兼1
		ヒンディ語Ⅰ	1・2前		1							兼1
		ヒンディ語Ⅱ	1・2後		1							兼1
第Ⅰ類科目	基礎部門	ヒンディ語Ⅲ	1・2前		1							兼1
		ヒンディ語Ⅳ	1・2後		1							兼1
		小計（32科目）	—	0	32	0	1 0	0	0 4	0	0	兼29 兼34
		表現文化概論	1・2前	2			1					兼1
		英語表現論	1・2後	2			1					
		文芸表現論	1・2前	2				1				兼1
		映像文化論	2・3前	2			1					
		メディア表現論	2・3後	2			2		4			
第Ⅰ類科目	基礎部門	社会言語学概論	1・2後	2				1				兼1
		小計（6科目）	—	12	0	0	4 2	2	0 4	0	0	兼3 兼4

第Ⅱ類科目	分野別科目	クリエイティブライティング研究A	1・2前・後 1→2後	2						兼1	集中 教育効果の観点から配当学期変更(22) 集中 教育効果の観点から配当学期変更(23) 教育効果の観点から配当学期変更(23)
		クリエイティブライティング研究B	1・2・3 1→2→3前	2						兼1	
		クリエイティブライティング研究C	1・2・3後	2						兼1	
		クリエイティブライティング研究D	1・2・3	2						兼1	
		クリエイティブライティング研究E	1・2・3前								
		エディトリアルライティング研究A	2・3・4後	2	1						
		エディトリアルライティング研究B	2・3・4前	2						兼1	
		エディトリアルライティング研究C	2・3・4後 2→3→4前	2	1					兼1	
		エディトリアルライティング研究D	2・3・4前 2→3→4後	2						兼1	
		リテラリーライティング研究A	2・3・4前	2						兼1	
		リテラリーライティング研究B	2・3・4後	2						兼1	
		リテラリーライティング研究C	2・3・4前	2	1						
		リテラリーライティング研究D	2・3・4後	2						兼1	
		メディア表現研究A	2・3後	2						兼1	
		メディア表現研究B	3・4前	2						兼1	
		映像文化研究A	1・2前	2	1			1		兼1	
					1						
		映像文化研究B	1・2後	2	1					兼1	
		映像文化研究C	2・3前	2				1		兼1	
		放送文化研究A	1・2前・後 1→2後	2						兼1	
		放送文化研究B	2・3前	2						兼1	
		放送文化研究C	2・3後	2				1		兼1	
		英語表現研究A	1・2前	2	1						
		英語表現研究B	1・2後	2	1		1				
		英語コミュニケーション論Ⅰ	1・2前	2						兼1	
		英語コミュニケーション論Ⅱ	1・2後	2						兼1	
		英語コミュニケーション論Ⅲ	2・3前	2						兼1	
		英語コミュニケーション論Ⅳ	2・3後	2						兼1	
		キャリア英語表現A	2・3前	2			1				
		キャリア英語表現B	2・3後	2	1						
		キャリア英語表現C	2・3前	2						兼1	
		キャリア英語表現D	2・3後	2						兼1	
		英語学概論A	2・3・4前	2	1						
		英語学概論B	2・3・4後	2			1			兼1	
		英米文学概論A	2・3・4前	2						兼1	
		英米文学概論B	2・3・4後	2			1				
		ウェブ表現研究A	2・3前 1→2→3前・後								教育効果の観点から配当年度変更(22) 教育効果の観点から配当学期変更(23)
			2→3前 2・3後	2						兼1	
		ウェブ表現研究B	2・3前・後 2→3後							兼1	
			2・3前	2							
		ウェブ表現研究C	2→3前・後 2→3前							兼1	
			2・3後	2							
		ウェブ表現研究D	2→3前・後 2→3後							兼1	
				2							

第Ⅱ類科目	分野別科目	書道表現研究 A	1・2前			2		1					
		書道表現研究 B	1・2後			2						兼1	
		書写技術研究 A	2・3前			2		1					
		書写技術研究 B	2・3後			2		1					
		書道史Ⅰ	2・3前			2						兼1	
		書道史Ⅱ	2・3後			2						兼1	
		ワークショップ（文芸・編集）Ⅰ	1前			6		2	1				
									2				
		ワークショップ（文芸）Ⅱ	1後			6		1	1				
		ワークショップ（文芸）Ⅲ	2前			6			1	1		兼1	
		ワークショップ（文芸）Ⅳ	2後			6			1	1			
		ワークショップ（文芸）Ⅴ	3前			6		1	1				
		ワークショップ（文芸）Ⅵ	3後			6		1		1			
		ワークショップ（文芸）Ⅶ	4前			6						兼1	
		ワークショップ（編集）Ⅱ	1後			6		1	1	1		兼1	
								2					
		ワークショップ（編集）Ⅲ	2前			6		1				兼1	
								2					
		ワークショップ（編集）Ⅳ	2後			6		1				兼1	
								3					
		ワークショップ（編集）Ⅴ	3前			6		1					
								2					
		ワークショップ（編集）Ⅵ	3後			6		1				兼1	
		ワークショップ（編集）Ⅶ	4前			6		1					
								2					
		ワークショップ（放送・映像）Ⅰ	1前			6		1			1		
								2					
		ワークショップ（放送・映像）Ⅱ	1後			6		1			1		
		ワークショップ（放送・映像）Ⅲ	2前			6		1	1		1	兼3	
		ワークショップ（放送・映像）Ⅳ	2後			6		1	1		1	兼3	
								2					
		ワークショップ（放送・映像）Ⅴ	3前			6		1				兼1	
		ワークショップ（放送・映像）Ⅵ	3後			6		2			1	兼1	
ワークショップ（放送・映像）Ⅶ	4前			6		1							
ワークショップ（英語）Ⅰ	1前			6		1				兼1			
ワークショップ（英語）Ⅱ	1後			6		1				兼1			
ワークショップ（英語）Ⅲ	2前			6		1				兼1			
ワークショップ（英語）Ⅳ	2後			6		1		1		兼1			
ワークショップ（英語）Ⅴ	3前			6		1		1					
ワークショップ（英語）Ⅵ	3後			6		1		1					
ワークショップ（英語）Ⅶ	4前			6		1		1					
ワークショップ（ウェブ）Ⅰ	3・4前			6						兼2			
										兼1			
ワークショップ（ウェブ）Ⅱ	3・4後			6						兼2			
ワークショップ（ウェブ）Ⅲ	4前			6		1				兼1			
ワークショップ（書道）Ⅰ	1・2後			6		1							
ワークショップ（書道）Ⅱ	2・3前			6		1							
ワークショップ（書道）Ⅲ	2・3後			6		1							
ワークショップ（書道）Ⅳ	3・4前			6		1							
ワークショップ（書道）Ⅴ	3・4後			6		1							
ワークショップ（書道）Ⅵ	4前			6		1							
小計（80科目）	—	0	304	0	10	3	2	1	0	兼29 兼19			

第Ⅱ類科目	教職関連部門	アメリカ文学史	2・3・4後		2						兼1	教職教科科目、自 学科Ⅱ類移行(23)
		イギリス文学史	2・3・4前		2			1				
		書道Ⅰ	2・3・4前		2		1					
		書道Ⅱ	2・3・4後		2		1					
		書道Ⅲ	2・3・4後		2		1					
		書道文化研究A	2・3・4前		2						兼1	
		書道文化研究B	2・3・4後		2						兼1	
		書道文化研究C	2・3・4後		2						兼1	
		書道文化研究D	2・3・4前		2						兼1	
		書道文化研究E	2・3・4前		4		1					
		日本文学基礎論	2・3・4前		2						兼1	
		日本漢文学	2・3・4前		2						兼1	
		小計(12科目)	—	0	26	0	1		1		兼5	
		卒業論文	4		8		8	2	2	1		
		卒業研究	4		8		8	2	2	1		
		小計(2科目)	—	0	16	0	8	2	2	1	0	
(168科目)					413						兼108	
合計(142科目)			—	19	387	0	8	2	2	1	0	兼128

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
19	315	0	334	19	315	0	334	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【賃与者】		
	校 舎 敷 地	40,625㎡ 40,104㎡ 39,240㎡	0㎡	0㎡	40,625㎡ 40,104㎡ 39,240㎡	(学) 佛教教育学園		
		運動場用地			31,429㎡		0㎡	31,429㎡
	小 計	72,054㎡ 71,533㎡ 70,669㎡	0㎡	0㎡	72,054㎡ 71,533㎡ 70,669㎡	【賃与期間】 H5. 1. 26から20年間 駐輪場新設のため(22)		
		そ の 他			744㎡ 712㎡ 287㎡		0㎡	0㎡
	合 計	72,798㎡ 72,245㎡ 71,381㎡ 70,956㎡	0㎡	0㎡	72,798㎡ 72,245㎡ 71,381㎡ 70,956㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新教育・研究棟完成の ため、校舎専用増(22) 既存校舎解体のため (23) 既存校舎解体および新 教育・研究棟完成(24)		
		51,507㎡ 49,221㎡ 49,849㎡ 43,117㎡	0㎡	0㎡	51,507㎡ 49,221㎡ 49,849㎡ 43,117㎡			
		(49,849㎡)			(49,849㎡)			
		—(43,117㎡)—			(0㎡)		(0㎡)	—(43,117㎡)—
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 既存校舎解体および新 教育・研究棟完成 (24)	
		69室 61室 59室	13室 30室 24室	15室 10室	4室 5室 (補助職員 2人)	0室 (補助職員 0人)		
		新設学部等の名称		室 数				
		表現学部 表現文化学科		13 室				
(5)	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	電子ジャーナル、視聴覚資 料は、大学全体で共用
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点				
	表現学部	59,999〔829〕 (61,729〔1,016〕)	257〔 26〕 (146〔 11〕)	20〔 2〕 (20〔 0〕)	10,527 (21,556)	0 ()	0 ()	
		計	59,999〔829〕 (61,729〔1,016〕)	257〔 26〕 (146〔 11〕)	20〔 2〕 (20〔 0〕)	10,527 (21,556)	0 ()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		4,862㎡	383		502,778			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		1,312㎡	総合グラウンド、野球場、テニスコート					

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用費）を含む。 納付金(授業料)を増額(22)
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	94,500千円	94,500千円	94,500千円	
		共 同 研 究 費 等	11,469千円	11,000千円	設備購入費	150,000千円	7,579千円	7,579千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,130千円 1,070千円	950千円 840千円	950千円 840千円	950千円 840千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、寄付金（設立宗派・同窓会・寺院関係者）、手数料（入学検定料等）、資産運用収入、等					

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 24 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	大 正 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
仏教学部	年	人	年次 人	人		倍			
仏教学科	4	100	25	450	学士（仏教学）	1.20	平成22年度	東京都豊島区西 巣鴨3丁目20 番地1号	
人間学部						1.06			
仏教学科	4	—	—	—	学士（仏教学）	1.06	平成5年度		平成22年度より学生募集停 止
アーバン福祉学科	4	80	—	320	学士（社会福祉学）	1.13	平成5年度		
ソーシャルワーク専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	1.15	平成22年度		平成23年度より学生募集停 止
環境コミュニティ専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	1.02	平成22年度		平成23年度より学生募集停 止
人間環境学科	4	60	—	240	学士（人間環境学）	1.13	平成23年度		
臨床心理学科	4	110	5	450	学士（臨床心理学）	1.21	平成21年度		
人間科学科	4	105	3	432	学士（人間科学）	1.22	平成12年度		
人間科学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	1.22	平成20年度		
教育人間学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	1.22	平成20年度		
教育人間学科	4	65	3	266	学士（教育人間学）	1.24	平成23年度		
文学部						1.22			
表現文化学科	4	—	—	—	学士（表現文化）	1.26	平成15年度		
人文学科	4	100	—	400	学士（人文学）	1.19	平成22年度		
歴史学科	4	160	3	646	学士（歴史学）	1.22	平成15年度		
表現学部						1.19			
表現文化学科	4	200	3	806	学士（表現文化）	1.19	平成22年度		

- （注）・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
- （専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<表現学部 表現文化学科>

(1) 担当教員表

(省 略)

(2) 専任教員数

届 出 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
8	2	2	1	13	1	10	3	2	1	16	1	
()	()	()	()	()	()	[2]	[1]	[]	[]	[3]	[]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に届出時の
計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (23年3月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (24年3月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<表現学部 表現文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

① 実施体制

a 委員会の設置状況

※関係規程等を転載又は添付すること

○平成5年度から「教育評価部会」を設置

○平成5年度から「教育評価部会」の下に「授業評価実施小委員会」を設置

○平成20年度から「学士課程教育構築に関する部会」を設置

○平成22年度から上記3部会を統合し、新たに「教育に関する評価部会」を設置

○平成22年度から「コース教務主任会」を設置

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

（平成21年度）

平成21年4月～平成22年3月

○「教育評価部会」（構成員：各学科・専攻の教員から1名ずつ互選。計7名）

6月に1回開催。委員は概ね出席。

○「授業評価実施小委員会」（構成員：各学科・専攻の教員から1名ずつ互選。計7名）

春学期2回、秋学期2回、計4回開催。委員は概ね毎回出席。

○「学士課程教育構築に関する部会」

（構成員：各コースから1名ずつ互選【主として教務主任】と部会長指名者。計20名）

計7回開催。委員は概ね毎回出席。

（平成22年度）

平成22年4月～平成23年3月

○「教育に関する評価部会」（構成員：各学科及び大学院から教員を1名ずつ互選。計8名）

春学期3回、秋学期2回、計5回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」（構成員：各コースの教員から1名ずつ互選。計18名）

春学期4回、秋学期7回、計11回開催。委員は概ね毎回出席。

（平成23年度）

○「教育に関する評価部会」（構成員：各学科及び大学院から教員を1名ずつ互選。計8名）

春学期2回、秋学期1回、計3回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」（構成員：各コースの教員から1名ずつ互選。計18名）

春学期４回、秋学期６回、計１０回開催。委員は概ね毎回出席。

○ 委員会の審議事項等

（平成２１年度）

○「教育評価部会」

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」項目の見直し・活用方法
- ・外部講師による講演会の実施

○「授業評価実施小委員会」

- ・学生による「授業評価アンケート」項目の見直し・報告書作成

○「学士課程教育構築に関する部会」

- ・CP・AP策定
- ・講義概要やシラバスの検討
- ・平成２２年度採用予定新任教員対象FD研修会

（平成２２年度）

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・各種教育調査の結果分析

○「コース教務主任会」

- ・カリキュラムマップ策定
- ・シラバスの検討

（平成２３年度）

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・各種教育調査の報告、結果分析

○「コース教務主任会」

- ・ゼミ制の強化、クラス担任制の導入
- ・専門教育におけるキャリア形成（キャリア教育）支援方法の検討

② 実施状況

a 実施内容

（平成２１年度）

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」
- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・外部講師による講演会
- ・CP・AP策定
- ・講義概要やシラバスの検討
- ・平成２２年度採用予定新任教員を対象にFD研修会を開催

（平成２２年度）

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・カリキュラムマップ策定
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・平成２３年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

（平成２３年度）

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会
- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
- ・平成２４年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

b 実施方法

（平成２１年度）

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」

春学期及び秋学期の授業終了後に作成し提出。「授業アンケート」結果と照らし合わせ、自己点検を行う。

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・外部講師による講演会

21年度は、他大学から講師を招き、学士教育課程の効果測定、特にラーニング・アウトカムの評価の意義やその手法について講演会を実施。

- ・CP・AP策定

平成22年3月にCP・APを策定。

- ・講義概要やシラバスの検討

平成21年より、授業の到達目標に関する項目を追加

(平成22年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・カリキュラムマップ策定

平成23年1月にカリキュラムマップを策定。

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、次年度科目のシラバス内容を検討する。

- ・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

(平成23年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、DP達成のためのCPとの整合性を取りながら、次年度科目のシラバス内容を検討する。

- ・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会

コース毎に教員が集まり、学生と教員のコミュニケーション強化、学生の個別学修状況把握などから最終的に就職につなげるためのゼミ強化、および1年次からのクラス担任制導入にあたっての問題点や実行策などを検討する。

- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

年度末に学生の「授業評価アンケート」結果を踏まえた上で、教員自身の授業自己点検およびフィードバックを行ない報告する。

- ・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」

春学期：7月 秋学期：2月

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期：6月～7月 秋学期：12月～1月

- ・外部講師による講演会

平成21年6月24日（水）に初年次教育学会学会長・同志社大学社会学部教授山田礼子氏を講師として招聘し、「学士課程教育の効果はどう測るか」について講演会を開催。

(平成22年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

- ・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：3月

（平成23年度）

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

- ・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会

実施：9月より月1回 報告書提出：3月

- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

実施：年度末 報告書提出：4月

- ・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：2月

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成21年度のFD活動の実施結果を踏まえて、平成22年度以降も取組みを継続的に実施する。

具体的には、

- ・学生による「授業評価アンケート」

「授業の到達目標」に対する回答項目を検討

- ・外部講師による講演会を予定

学生による「授業評価アンケート」集計結果等から検討課題を見出し、次年度のカリキュラムやシラバスに反映する。

平成22年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成23年度以降も継続的に実施する。

平成23年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成24年度以降も継続的に実施する。

具体的には、

・Ⅰ類科目（教養科目・初年次教育科目）・キャリア教育科目とⅡ類科目（専門教育科目）の全体的な再構築（融合）に向けて、諸問題の検討

- ・上記を踏まえた各コースDPの再確認および見直し

・そのDPを実現するためのCPの作成、授業方法やシラバスの記載方法などの検討を行なう。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期 平成24年12月中旬

本学では、学則において教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行うことを定めている。
また、本学では2008年度にTSR(大正大学の社会的責任)の方針を定め、これに基づき昨年度より自ら目標を立て、計画・実行し改善を継続していく、社会的責任を全うするための「内部質保証」システムを構築した。

組織的には理事長を長とする「TSR推進委員会」をおき、そのもとに学長を長とする「TSR推進運営委員会」、そのもとに「教育に関する評価部会」、「研究に関する評価部会」、「社会活動に関する評価部会」、「管理運営に関する評価部会」、「大学院に関する評価部会」の5つの「個別評価部会」をおいている。
「TSR推進委員会」は、全学的観点から総合かつ体系的な自己点検・自己評価を行い、総括評価報告書を作成するとともに、PDCAサイクルが循環し質向上に向けた努力が継続的になるよう管理運営している。

b 公表方法

自己点検・評価の取組みが本学の教育研究活動の総括と方針決定に結びつく重要な業務であることを認識し、報告書にまとめることに留まらず、改善すべき内容については緊急度の高いものから随時具体化をはかる。自己点検・評価の結果については『自己点検・評価報告書』を刊行すると同時に本学のホームページにも掲出している。
また、授業評価アンケートについては、年2回『学生による授業評価報告書』として刊行すると同時に本学のホームページに公開している。

③ 認証評価を受ける計画

これまでに、平成6年に「大学基準協会」維持会員への申請を行い、平成7年度より維持会員となり、平成13年度に大学基準協会の相互評価を受けてきた。そして平成18年度には「自己点検・評価実施委員会」が作成した自己点検・評価報告書をもとにして、文部科学省の認証を受けた評価機関内の「大学基準協会」を利用して第三者評価を行い、「大学基準に適合する」旨の結果を得た。

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (24年 6月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ ☐ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.tais.ac.jp/guide/edu_vision/report/)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。